

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 4. 18 第 196 回国会第 11 号

4 月 18 日（水）、第 11 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・齋藤農林水産大臣、野上内閣官房副長官、磯崎農林水産副大臣、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

藤原崇君（自民）

- ・所有者不明農地について、土地改良事業を実施する際の同意手続を伺いたい。
- ・山村活性化支援交付金の事業効果とその検証結果について見解を伺いたい。
- ・中山間地域の振興について農林水産大臣はどのように考えているのか。

佐藤英道君（公明）

- ・北朝鮮による違法操業、漂流・漂着船の現状と対策、今後の見通しはどのようなものか。
- ・日米 F T A に対する農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・食品ロスの削減に向けた対策の強化について伺いたい。

石川香織君（立憲）

- ・農林水産省に保管されていた学校法人加計学園問題に係る愛媛県が作成した面会記録（以下「愛媛県文書」という。）は、農林水産省内においてどのような認識にあり、どの程度広がっていたのか。
- ・外国人技能実習制度において、技能実習 2 号移行対象職種（2 年目以降継続できる実習）に、肉用牛に関する作業が入っていない理由は何か。
- ・乳児用液体ミルクに関する課題を含めた農林水産省の考えを伺いたい。

神谷裕君（立憲）

- ・農林水産省は、愛媛県文書の入手経路について、更なる調査を行うべきではないか。
- ・C P T P P の影響試算については、国内対策による影響を切り分けて示すべきではないか。
- ・主要農作物種子法を復活させるべきではないか。

関健一郎君（希望）

- ・主要農作物種子法を廃止した目的は何か。
- ・主要農作物種子法を廃止するのではなく、品種開発を行う生産者への支援を充実させればよかつたのではないか。
- ・今国会で審議中の建築基準法の一部を改正する法律案により、どの程度木材利用が促進されると見込んでいるか。

大串博志君（希望）

- ・農林水産省全体の定員確保と、地方組織における定員合理化の重い負担についての農林水産大臣の考えを伺いたい。
- ・違法操業を取り締まる漁業調整事務所の体制整備についての農林水産大臣の決意を伺いたい。
- ・米国の T P P 復帰に係る交渉において、日本が農業分野で譲歩することはないことを農林水産大臣は断言すべきではないか。

金子恵美君（無会）

- ・林業従事者の育成・確保に向けて、どのような取組を行っているのか。
- ・森林認証制度及び森林認証材の普及・促進・利用拡大に向けて、どのような取組を行っているのか。
- ・果樹農業に対してどのような支援を行っているのか。

田村貴昭君（共産）

- ・愛媛県文書を農林水産省は重要事案として取り扱うべきではなかったのか。
- ・森林の無断伐採に係る都道府県調査結果の詳細について伺いたい。
- ・森林の盗伐・無断伐採による被害者へ農林水産省としてどのような対応をしているのか。

森夏枝君（維新）

- ・「遺伝子組換えでない」との表示に係る消費者から寄せられた意見と政府の対応を伺いたい。
- ・遺伝子組換え食品の表示制度の見直しを検討すべきでは

- ないか。
- ・駆除した野生鳥獣の利活用の取組について伺いたい。

2 厚生年金保険制度及び農林漁業団体職員共済組合制度の統合を図るための農林漁業団体職員共済組合法等を廃止する等の法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 37 号）

- ・齋藤農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。